

【項目1】 教育理念・目的・目標

※ 評価結果の見かた

- ・ 3：評価の基準を上回り、特筆すべき取組等を実施している
- ・ 2：評価の基準をおおむね満たしている
- ・ 1：評価の基準を満たしておらず改善が必要である

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び 目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	2	・ 学生便覧 ・ ホームページ

①状況説明

学生便覧2025年度版（p1～3）、学校ホームページ（教育方針・3つのポリシー）に明確に示している。

教育理念

本校は、教育基本法、学校教育法、理学療法士及び作業療法士法に基づき、リハビリテーションに関する専門知識と技術を教授するとともに、医療人にふさわしい慈しみの心を涵養し、地域医療の向上に貢献できる人材を育成する。具体的には下記の4つの目標を掲げる。

教育目標

1. 医療の変化に対応できる人材の育成
2. チーム医療の担い手の育成
3. 医療の国際化に対応できる人材の育成
4. 地域医療の向上に貢献できる人材の育成

ディプロマ・ポリシー

認知領域（知識・技能）

- ・ 社会で必要とされる幅広い教養と国際的視野を身につけている
- ・ 医療人として必要な医学的基本知識を身につけている
- ・ 多様な臨床現場で必要とされる、作業療法・理学療法の専門知識と実践的技能を身につけている

精神運動領域（思考力・判断力・表現力）

- ・ 適切な作業療法・理学療法のために、科学的根拠をもった適切な判断ができる
- ・ 専門領域の諸課題に対して、自ら問題解決していく能力を有している
- ・ 様々な状況下で、自らの考えを他者に的確に伝えることができる

情意領域（主体性、協働して学ぶ）

- ・ 社会的責任を自覚し、高い倫理観と豊かな人間性を身につけている
- ・ 科学的探求心をもち、自らを鍛え磨く意欲と能力を有している
- ・ 医療チームの一員として有機的な連携を図ることができる

自己点検評価表（2025改訂版）

②課題及び今後の改善方策

特記事項なし

③特記事項（優良な取組等）

特記事項なし

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

※ 評価結果の見かた

- ・「3」基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている場合
- ・「2」基準をおおむね満たす場合
- ・「1」基準を満たしておらず改善が必要な場合

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	・学則 ・ホームページ （カリキュラムポリシー） （カリキュラムマップ） ・教育課程編成委員会議事録
	②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	・シラバス ・臨床実習ガイドブック ・口頭試問採点用紙
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【注）職業実践専門課程】	3	・シラバス ・職業実践専門課程別紙様式 4
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	・シラバス ・学生便覧 （学則） （単位、進級及び卒業の認定に関する規程） ・卒業判定会議議事録

自己点検評価表（2025改訂版）

4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2	・ 学生便覧、ホームページ（ディプロマポリシー） ・ 成績考查に関するガイドライン ・ 学校関係者評価委員会資料（重点項目）
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	・ 学生便覧、ホームページ（ディプロマポリシー） ・ 学校関係者評価委員会資料（重点項目）

①状況説明

学校の目的・目標および養成する人材像の実現に向け、カリキュラムポリシーに基づき教育課程を体系的に編成している。授業科目はカリキュラムマップにより系統性・段階性を踏まえて配置し、教育課程編成委員会で検討・見直しを行っている。授業内容に応じて講義、演習、実習等の適切な授業形態で教育を実施している。授業はシラバスに基づき行われ、教材および評価方法を明示している。また、企業等と連携した実習・演習を実施し、実践的な教育機会を確保している。さらに、コロナ禍で中断していた国際交流を2024年から再開し、韓国の釜山カトリック大学および春海保健大学を訪問するとともに、釜山カトリック大学の教員1名、学生10名を招き入れ、学術交流や文化交流を実施した。また、山口大学医学部附属病院の協力のもと、日本の理学療法・作業療法を見学する機会を設けることもできた。学則および各種規程に基づき単位認定、進級判定、卒業認定を行っている。最終的な卒業認定は卒業判定会議で審議し決定しており、適正に運用されている。ディプロマポリシーに基づき、資格取得や知識・技能の修得、希望進路の実現に関する目標を設定している。一方で、国家試験合格率100%の目標は未達成のため取組みには改善が必要である。第61回理学療法士国家試験の本校合格率（新卒）は82.1%（受験者28名、合格者23名、全国（新卒）合格率94.9%）、また、作業療法士国家試験の本校合格率（新卒）は87.5%（受験者16名、合格者14名、全国（新卒）合格率96.6%）であった。

②課題及び今後の改善方策

理学療法士・作業療法士国家試験合格率100%（新卒）が達成できていない。今後は、早期からの指導に加え、学生の学力に応じた個別性の高い学習支援を強化するなど、試験対策をより充実させるよう取り組む必要がある。

③特記事項（優良な取組等）

国家試験対策を1年次から4年次までの一貫した取り組みとして、国試対策に特化した授業の設置や授業内での国試過去問題の活用、放課後等を活用した個別・集団指導など体系的な学習支援体制を構築している。また、長期休暇期間においても自主課題を提示し、継続的な学習の定着を図っている。

【項目3】 学生の受入れ学生支援

※ 評価結果の見かた

- ・ 3：評価の基準を上回り、特筆すべき取組等を実施している
- ・ 2：評価の基準をおおむね満たしている
- ・ 1：評価の基準を満たしておらず改善が必要である

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	3	・ 学生便覧（学則）（アドミッションポリシー） ・ 募集要項 ・ 入試判定会議資料
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注）修学支援新制度機関要件の確認】 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	・ 学生便覧（学則） ・ 募集要項 ・ ホームページ（事業実績）
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	3	・ 面談記録 ・ FD研修 ・ 放課後学習会 講義実施記録
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	3	・ バリアフリースイレ ・ エレベーター（学生便覧：校舎配置図） ・ うべマップ（バリアフリー情報一覧）
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		

自己点検評価表（2025改訂版）

4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	・ 学生便覧（学生相談について） ・ 面談記録
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	・ 学生便覧（学生相談について） ・ 面談記録
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	・ 年間行事予定（健康診断） ・ 学生便覧（健康管理規程） ・ 学生便覧（校舎配置図）
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	・ 募集要項 ・ 奨学金説明会資料
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	・ 学生便覧（学生相談について） ・ 業務分掌（キャリアサポート） ・ 就職試験報告書

①状況説明

入学者の受け入れ方針、入学選考基準および選考方法は明確に定めており、募集要項やホームページ等で適切に周知している。入学者選抜は入試判定会議において、基準に基づき適切に実施しており、入学定員も遵守している。学習支援として入学前教育や放課後学習会（自主参加）、個別面談による補習等に取り組んでいる。シラバスはe-ラーニングシステムで年度内を通じて公開し、学習内容や評価方法を明示している。また、内容に変更があれば適宜更新し、学生へ周知している。学生相談に対応するための相談体制も整備しており、適切に運営している。さらに、学生の経済的支援として、出願区分奨学生制度、進級時奨学生制度、地域貢献資格取得奨学金制度、Y I Cグループサポート制度など、多様な支援制度を整備している。

②課題及び今後の改善方策

理学療法学科、作業療法学科ともに定員は充足していない。今後も、職業および養成校の認知度向上のために、オープンキャンパスやWebを活用した情報発信等によって広報活動の充実を図る。また、高校訪問や地域への貢献事業等を通じて本校との接点の拡大を図り、志願者の確保につなげる。

自己点検評価表（2025改訂版）

③特記事項（優良な取組等）

授業の空き時間、放課後などを活用し、個別・小集団による学習指導を定期的に行っている。宇部市が運用する地理情報システム「うべマップ」のバリアフリー施設等に登録されており、地域に開かれた学校となっている。担任およびゼミ担当制を導入し、定期的な面談を実施するなど、相談しやすい環境を整備している。また、教職員への相談が難しい場合には学院本部との連携した対応が可能である。就職支援については、履歴書作成や面談指導を実施するとともに、採用情報を紙媒体やWeb上で公開し、情報収集しやすい環境を整備している。さらに、実習や採用試験対策の一環として外部講師を招聘し、身だしなみ（メイク・洗顔等）に関する指導を行うなど、実践的なスキル向上にも取り組んでいる。

【項目4】教育実施組織・教員

※ 評価結果の見かた

- ・ 3：評価の基準を上回り、特筆すべき取組等を実施している
- ・ 2：評価の基準をおおむね満たしている
- ・ 1：評価の基準を満たしておらず改善が必要である

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	・ 教員調書 ・ 職務目標・能力自己申告表 ・ コンピテンシーレベルチェックシート
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2	・ 月間予定表 ・ 授業分担表 ・ 教員調書 ・ 職務目標・能力自己申告表 ・ コンピテンシーレベルチェックシート
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2	・ 教員調書 ・ 業務分掌
	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	2	・ 教職員会議議事録 ・ 非常勤講師説明会議事録
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	・ FD研修 ・ 出張伺および復命書
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注】職業実践専門課程】	3	・ 教育セミナー（年金・薬物防 止・消費者）
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【注】職業実践専門課程】	2	・ YIC研修 ・ 外部研修案内

自己点検評価表（2025改訂版）

①状況説明

教育課程を適切に実施するため、教員の採用基準を整備し、必要な資格・要件を備えた教員を確保している。能力自己申告表、コンピテンシーレベルチェックシート等により教員の専門性や教授力の把握に努めている。学内に教育目的に応じた組織体制を整備し、業務分掌により業務分担および責任体制を明確にしている。また、教職員会議や非常勤講師説明会を通じて内部・外部を問わず教員間の情報共有と連携を図り、協力体制を構築している。指導力向上を目的として、FD研修や外部研修への参加、研究活動等を支援している。また、職業実践専門課程として企業等と連携した教育セミナーや研修を実施し、教員の指導力向上に努めている。

②課題及び今後の改善方策

特記事項なし

③特記事項（優良な取組等）

関係機関と連携し、消費生活、薬物防止、年金等に関する出前講義を実施するなど、一般社会人に必要な知識の習得に関する取組みを行っている。

【項目5】教育環境

※ 評価結果の見かた

- ・ 3：評価の基準を上回り、特筆すべき取組等を実施している
- ・ 2：評価の基準をおおむね満たしている
- ・ 1：評価の基準を満たしておらず改善が必要である

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2	・ 学校設置認可申請書 ・ 学生便覧（教室配置図） ・ 備品一覧表
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	2	・ 学校設置認可申請書 ・ 学生便覧（教室配置図）
	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	2	・ 学生便覧（教室配置図） ・ 図書台帳 ・ 学生便覧（図書管理規程）
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2	・ 学生便覧（健康管理規程）
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	・ 防災規程 ・ 消防計画書 ・ 自衛消防訓練届出書
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3	・ 業務分掌 ・ 教室清掃チェックシート ・ 環境整備点検チェックシート ・ 業務報告ナビ
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	・ 環境整備アクションシート

①状況説明

教育上に必要な環境は整備できている。整備状況は各種書類にて管理できている。学習支援のための施設は、教室配置図を学生便覧や連絡アプリに掲載することで周知している。図書の管理は図書台帳等で管理し、学生への図書貸出や閲覧は可能である。学校保健安全法に基づいて運営できている。火災等に備えた防災規程および計画を整備し組織的な防災体制を整えている。施設・設備等の点検や補修は業務分掌に基づき日常点検および定期点検を実施している。また、不具合には速やかに対処している。

自己点検評価表（2025改訂版）

②課題及び今後の改善方策

特記事項なし

③特記事項（優良な取組等）

日常点検および定期点検の実施状況は記録し、蓄積されている。また、日常点検については、各職員が実施状況を随時確認できる共有システムを構築している。

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

※ 評価結果のみかた

- ・「3」基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている場合
- ・「2」基準をおおむね満たす場合
- ・「1」基準を満たしておらず改善が必要な場合

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と財務 基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2	・ 中長期計画書
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2	・ 貸借対照表
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	2	・ 理事会議事録 ・ 学校運営会議規程 ・ 校務会議規程 ・ 教職員会議規程 ・ 校務会議議事録 ・ 教職員会議議事録
3 学校評価の実施と改 善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	2	・ 学校関係者評価委員会議事録 ・ 教育課程編成委員会議事録
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注）職業実践専門課程】	2	・ 教育課程編成委員会議事録
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2	・ 学校関係者評価委員会議事録 ・ 教育課程編成委員会議事録
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	・ 改善進捗管理シート

自己点検評価表（2025改訂版）

4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2	・職業実践専門課程別紙様式 4 ・自己点検評価表 ・ホームページ
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	2	・年間スケジュール ・貸会場利用規定 ・事業報告書 ・各種行事のイベント案内

①状況説明

中長期計画を策定し教育目標の実現に向けて取り組んでいる。また、教育活動を安定的かつ継続的に遂行するために必要な財務基盤は確立している。学校運営に関する組織体制は整備されており、各種会議等での運営も行えている。学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を設置し、外部からの意見を積極的に聴取している。また、改善に向けて検討を重ね、実行している。学校評価の結果はホームページにて公表している。本校独自の取り組みや外部からの要請に応じて地域貢献事業を積極的に実施している。具体的には、高齢者を対象とした体力測定や「まちなか保健室」事業（アロマテラピー等）の実施、小学生を対象とした障害者スポーツ体験や工作イベントの開催、高校生を対象とした部活動支援（InBodyによる体成分測定）等、多様な活動を展開している。

②課題及び今後の改善方策

特記事項なし

③特記事項（優良な取組等）

特記事項なし